

■成績評価について

学修状況・意欲の把握、試験やレポート、課題作品などを基に、学習成果を適切な方法により厳格かつ適正に評価して単位を与える、又は履修認定をしている。

<授業科目の学修成果の評価について>

成績は、学期末に行われる期末試験の点数、平常成績（課題作品、実技の評価）、授業態度、出席率（授業時間数の70%以上が目安）等を総合的に評価する。各科目の成績評価は、その方法と基準をシラバスに明示し、その評価方法・基準により成績を点数化し、0から100点とする以下の5段階評価とする。

100～90点＝S、89～80点＝A、79～60点＝B、59～50点＝C、49点～＝D

* Dは不認定となり単位を取得できない。

<客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施について>

各科目の半期、または通年の成績評価を総合し、GPA（成績評価値）を算出している。算出方法は、各科目の成績評価をS＝4点、A＝3点、B＝2点、C＝1点、D＝0点とし、それらに各科目の単位数を掛けた数値を、受講した科目の単位数を合計した値で割って平均値を出しGPAとする。また、年間の取得単位数が本校の定める単位数に満たない場合は、修了が認められず、進級、卒業が不可となる。

■卒業の認定について

<修了認定>

各学年の修了認定については、規定の出席時数を満たし、試験等の成績評価により所定の単位数を超えた単位を取得していること、教育課程表に掲載の必修科目を履修していること、学費が完納されていることを原則とする。

各学年の修了時（1年次から2年次への進級、2年次から3年次への進級）、1年間で取得すべき単位数が不足している学生については認定会議で最終検討を行い、進級に問題の残る学生は必要に応じて保護者来校のうえ、三者懇談を行う。

<卒業認定>

卒業試験は実施せず、各学年の修了を卒業要件とする。卒業資格認定可否審査は、教職員による認定会議により行われ、卒業資格要件を満たした者には卒業資格を認定する。卒業時に専門士の称号が付与される。卒業に必要な単位数は、テクニカルクリエーション科においては90単位以上、ファッション流通科においては60単位以上である。